

論文内容の要旨

氏名	水井 亮
Preliminary observations on the associations between sensory processing abnormalities and event-related potentials in adults with autism spectrum disorder (和訳) 自閉スペクトラム症の成人における感覚処理異常と事象関連電位との関連についての予備的観察	

論文内容の要旨

はじめに

自閉スペクトラム症(ASD)は神経発達症のひとつであり、さまざまな神経生理学的特性が関与していると考えられている。事象関連電位(ERP)は脳の認知処理過程における認知機能を反映する。本研究では、ASD群と定型発達群とのERPのP300とN100の違いを調べるとともに、ERPの構成要素と自閉症特性や感覚処理特性の評価指標のスコアとの関係に注目した。

方法

ASD群96名と年齢・性別を調整した定型発達群62名においてERPを測定した。各成分と自閉症スペクトラム指数日本語版(AQ-J)および思春期・成人感覚プロフィール(AASP)の得点との相関も評価した。

結果

ASD群では、C3におけるN100の振幅が有意に低下した。さらに、両群においてN100のC3における振幅の低下と登録された感覚低登録スコアの高さの間に負の相関が認められた。

結論

我々の知見は、C3におけるN100振幅がASDの神経生理学的特徴を調べるための潜在的な指標となりうることを示唆しているが、これらの結果は予備的なものであるため、慎重に解釈されるべきである。感覚処理の異常に関するこれらの暫定的な洞察は、ASD集団の特定のサブセットにおいて識別できる可能性があり、将来の調査方法の基礎となりうる。